

同窓さふさ

第49号

2015年12月発行
(平成27年12月)
千葉県立匝瑳高等学校
同窓会事務局
〒289-2144 千葉県
匝瑳市八日市場イ-1630
TEL. 0479-72-1541
FAX. 0479-73-6146
代表：關 範雄

同窓会報年1回発行☆各家庭に1冊配布☆最新情報はHPへ

夢きらめく
同窓生



千葉大学薬学部・伊藤花奈恵さん



千葉大学理学部・石毛洋輔さん

今年4月に国立大学に入学した、同窓会員の3人。匝瑳高校で培ってきた経験を生かし、それぞれの夢に向かって頑張っています。3人の「高校時代の思い出と将来の夢」の寄稿は5ページに掲載しています。



山形大学医学部・加瀬詩織さん

例総会開かれる

關範雄さん（高23）

平成27年6月28日、匝瑳高校視聴覚室で、平成27年度定例総会が開催されました。新会長に高23回生の關範雄さんを選出し、平成26年度の活動報告・決算及び平成27年度予算・事業計画などを決定しました。



關 範雄 会長
(高23)

会長あつち

同窓生としての自覚と誇りを

昨年の90周年記念事業へ関わり、特に募金活動等を通して「母校への思い」の温度差を強く感じました。匝瑳中学卒業・匝瑳高校一桁（1〜9回生）卒業の先輩方の「熱い思い」を我々以降の卒業生に伝えていかねばと考えています。募金活動に携わり一部の同窓生から「匝高になんか世話になつてない」と言われ、悲しい思いになったのは私だけではないようです。多感な青春期、同じ学舎で体躯を鍛え、知能を磨き、思想を培うことよって今日の自分があること、そして、生涯の友と巡り逢えた「匝瑳高校」に感謝する気持ちを持ち続けたいと思います。

現在の同窓会にはいくつかの課題があります。

一つ目は、「会費納入状況が良くない」ことです。そのことにより『同窓さふさ』の発行が一昨年から年1回になりました。そして、学校（生徒）への援助も減額せざるを得なく、また、同窓会活動そのものにも支障が生じかねない状況です。

二つ目は、「幹事が決まっていない（活動していない）卒業回生がある」ことです。第20代同窓会長から会長任期が1年となり、63歳になる年度の卒業生から選出することになっていきます。同窓会活動が円滑に継続していくためにも若い世代の方々が同窓会活動に参加いただけるように考えていきたいと思えます。

多くの同窓生の皆様に同窓生としての自覚と誇りを持つていただくために何をすれば良いのか、皆様のご意見をお伺いしながら、微力ではございますが取り組んでいきたいと考えております。

平成27年度 役員（総会時現在）

参 与	顧 問	会 報 担 当	書 記	会 計	事 務 局 長	体 育 部 長	文 化 部 長	総 務 部 長	監 事											副 会 長	会 長								
宇 野	高 木	岩 井	宮 内	田 口	長 谷 川	川 口	青 澤	宇 野	林 典	多 田	飯 島	小 川	萩 原	伊 知 地	工 藤	加 瀬	青 柳	清 水	熱 田	宮 澤	宮 崎	石 井	勝 又	伊 東	石 毛	堀 越	佐 藤	齊 藤	關 元
健 一	幸 一	宏 進	君 夫	君 茂	克 己	晴 美	典 男	典 男	潤 司	清 司	美 恵	雅 章	吉 春	正 一	博 孝	泰 操	幸 巨	康 雄	善 一	善 可	晴 稔	善 夫	晴 毅	善 理	善 夫	正 一	修 夫	藤 久	元 雄
(高22)	(高22)	(高31)	(高31)	(高15)	(高15)	(高32)	(高30)	(高30)	(高38)	(高23)	(高17)	(高23)	(高31)	(高20)	(高11)	(高17)	(高13)	(高14)	(高21)	(高23)	(高15)	(高18)	(高20)	(高22)	(高20)	(高13)	(高23)	(高24)	(高23)
従 来 の 方 々 に 加 え	事 務 長	定 時 制 教 頭	全 日 制 教 頭	全 日 制 教 頭	校 長									四 街 道 支 部 会 長	海 上 支 部 会 長	光 支 部 会 長	飯 岡 支 部 会 長	野 柴 支 部 会 長	干 潟 支 部 会 長	東 京 支 部 東 会 会 長	京 葉 支 部 会 長	多 古 支 部 会 長	横 匝 会 会 長	銚 匝 会 会 長	旭 匝 会 会 長	匝 陵 会 会 長	次 期 会 長	次 期 会 長	

同窓会の定例総会は、毎年6月の第4日曜日開催しております。



平成27年度 定 新会長に

平成27年度 匝瑳高等学校同窓会 一般会計予算

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

収入の部合計	4,995,000円
支出の部合計	4,995,000円
差引残高	0円

平成26年度 匝瑳高等学校同窓会 一般会計決算

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

収入の部 合計	12,149,322円
支出の部 合計	9,691,068円
差引残高	2,458,254円

1. 収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
前期繰越金	2,458,254	8,371,274	▲ 5,913,020	前年度から繰り越し
会費	1,500,000	1,500,000	0	
入会金	1,002,000	1,020,000	▲ 18,000	全日制319名 定時制15名
寄付金	30,000	30,000	0	
雑収入	4,746	3,726	1,020	名簿売上、預金利息
収入の部計	4,995,000	10,925,000	▲ 5,930,000	

2. 支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会議費	506,000	400,000	106,000	総務部・文化部・幹事会・支部総会
事務費	90,000	150,000	▲ 60,000	事務通信費・印刷費
旅費	50,000	40,000	10,000	会務旅費(学校/会長)
慶弔費	150,000	200,000	▲ 50,000	役員・母校職員等
振込手数料	30,000	30,000	0	会費振込手数料
会報発行費	2,800,000	3,600,000	▲ 800,000	印刷費・発送費
補助費	1,000,000	1,100,000	▲ 100,000	母校教育活動への補助
H P管理費	220,000	220,000	0	ホームページの管理
予備費	149,000	185,000	▲ 36,000	
特別会計へ	0	5,000,000	▲ 5,000,000	
支出の部計	4,995,000	10,925,000	▲ 5,930,000	

3. 特別会計の部

		備考
前期繰越	20,132,415	
収入の部	0	積立
次期繰越	20,132,415	

1. 収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
前期繰越金	8,371,274	8,371,274	0	
会費収入	1,500,000	2,553,000	1,053,000	
入会金収入	1,020,000	1,005,000	▲ 15,000	全日制320名 定時制15名
寄付金収入	30,000	69,000	39,000	総会懇親会剰余金
雑収入	3,726	151,048	147,322	広告賛助収入割戻・名簿売上げ他
収入の部計	10,925,000	12,149,322	1,224,322	

2. 支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	400,000	376,321	23,679	総務部会・文化部会・幹事会・支部
事務費	150,000	76,455	73,545	事務通信費・印刷費
旅費	40,000	29,000	11,000	会務旅費
慶弔費	200,000	134,000	66,000	役員・母校職員等
振込手数料	30,000	23,600	6,400	会費振込手数料
会報発行費	3,600,000	3,022,659	577,341	印刷費・発送費
補助費	1,100,000	1,029,033	70,967	母校教育活動への補助
H P管理費	220,000	0	220,000	ホームページの管理(6/1~5/31) 終了後支出に変更のため、当年度の支払なし
予備費	185,000	0	185,000	
特別会計へ	5,000,000	5,000,000	0	
支出の部計	10,925,000	9,691,068	1,233,932	

3. 財産目録

平成27年3月31日現在

一般会計	現金	160,348
	ゆうちょ銀行 当座預金	484,690
	ゆうちょ銀行 通常貯金	1,813,216
一般会計 合計		2,458,254
特別会計	特別会計 合計	20,132,415
総資産		22,590,669

記念講演

グラフィックアートとの遭遇 ～装丁にはドラマがある～

向後 武男 (高23)

総会終了後、装丁家の向後武男さん(高23)を講師として、記念講演が行われました。向後さんは「デザインハウス ビガー」を主宰し、二科会デザイン部(会員)、千葉デザイン協会(会長)、千葉市美術協会G.D(理事)に所属。多くの、本のカバーのデザイン、表紙のデザインを行い、現在は別冊ビッグコミック「ゴルゴ13」の表紙を制作しています。講演では、装丁作品画像を交え、装丁についてお話しされました。以下講演の概要をご報告します。

装丁家への道のり

「匠高校在学中は漠然と芸術家になろうと思っていましたが、現実は美大に落ち、挫折しました。進学した大学の単位は3年で取得し、何気なく通信教育のレタリングを学び、デザインスタジオの営業として就職しました。その営業先で「デザイン」の基礎を学べばモノになる」と言われ、東京造形大学の母体である桑沢デザイン研究所へ入学し、卒業後は大阪電通系のアシスタントデザイナーとして入社しま



スライドを使いゴルゴ13の装丁を説明する向後さん。「表紙の製作の注意点は①インパクトがある②背景と小道具の組み合わせにゴルゴ13を配置する③同じ背景は使わない。この3点を守り、様々な工夫をしています」。

平成26年度事業報告

本部関係

期日	事業内容	会場
26.6.22	定例総会※会長に宇野健一氏(高22)を選出 ※記念講演「新しい国家像・社会観を探る」飯田健雄氏(高22)	体育館
26.7.5	母校蔦蔦祭 ガラリーの公開、PTAバザーへの協力	西城館
26.7.15	第1回文化部会	西城館
26.9.12	第1回総務部会	西城館
26.10.24	合同検討委員会(さふさ・会費納入・幹事検討委員会)	西城館
26.10.27	シニアゴルフ大会	レイクウッド総成
26.11.1	創立90周年記念式典	体育館
26.11.21	第2回総務部会	西城館
27.1.30	第3回総務部会	西城館
27.2.7	新年幹事会	梅田家
27.3.6	全日制同窓会入会式 高67回320名	体育館
27.3.7	午前全日制卒業式 夜定時制卒業式、同窓会入会式 定61回15名	体育館 食堂
27.4.7	午前全日制入学式 普通科232名 英語科40名 理数科39名 夜定時制入学式 15名	体育館 西城館
27.4.10	母校職員歓迎会	黄鶴
27.4.24	第4回総務部会	西城館
27.5.18	第2回文化部会	西城館
27.5.18	親睦ゴルフ大会	レイクウッド総成
27.5.22	幹事会	西城館

支部関係

26.7.6	四街道支部 工藤博孝氏(高11)支部長再任	四街道文化センター
26.7.12	匝瑳会豊和支部 須合陽一郎氏(高22)支部長再任	石毛ドライブイン
26.7.27	匝瑳会匝瑳支部 鈴木高次氏(定・夜10)支部長選出	内山屋
26.8.3	光支部 青柳泰亘氏(高13)支部長選出	町民会館
26.8.23	旭匝会 堀越正夫氏(高13)支部長再任	旭楼
26.8.24	干潟支部 宮澤善一氏(高23)支部長選出	嘉儀屋
26.8.24	野栄支部 熱田康雄氏(高21)支部長再任	望洋荘
26.9.26	匝瑳会吉田支部 齊藤修勇氏(高18)支部長再任	紫洋
27.4.11	東京支部 宮崎晴可氏(高15)支部長再任	アルカディア市ヶ谷
27.5.23	京葉支部 石井総氏(高18)支部長選出	ホテルミラマーレ
27.5.30	飯岡支部 清水幸男氏(高14)支部長再任	幸喜
27.6.12	匝瑳会拡大幹事会 佐藤修一氏(高23)支部長選出	吾妻庵
27.6.20	横匝会 伊東雅毅氏(高22)支部長選出	富士屋

会報・ホームページ関係

26.6	ホームページ更新
26.12	さふさ第48号発行

平成27年度事業計画

本部関係

期日	事業内容	会場
27.6.28	定例総会	視聴覚室
27.7	第1回文化部会	西城館
27.7.4	母校蔦蔦祭 ガラリーの公開、PTAバザーへの協力	西城館
27.7	第1回総務部会	生物講義室
27.10	第2回総務部会	西城館
27.10.26	シニアゴルフ大会	成田ハイツリー
28.1	第3回総務部会	西城館
28.2	幹事会新年会	梅田家
28.3	同窓会入会式全日制	体育館
28.3	同窓会入会式定時制	食堂
28.4	第4回総務部会・第2回文化部会	西城館
28.5	幹事会	西城館
28.5.18	親睦ゴルフ大会	レインボーヒルズCC

会報・ホームページ関係

27.12	さふさ第49号発行
-------	-----------

高校の思い出と将来の夢

千葉大学・伊藤 花奈恵 (高67)

高校生活の中で一番心に残る思い出は、卒業式の答辞です。この経験により、自分の新しい一面を見つけられたからです。それまでは、「話すことが下手だから、人前が出るべきじゃない。」と自分に言い聞かせ、なるべく目立たない仕事ばかり選んでいました。けれど、初めて任せられた大役を何とかこなすことができたことで、「私もやればできるのだ!」と驚き、「他にもできることがあるのでは。」と思えるようになりました。大学では、初めて体験することばかりで、もっと自分の知らない部分を知ることができると思うと、これからが楽しみです。

私は、具体的な将来の夢を、まだ決めていません。薬学を学ぶからには、その知識を使い、社会に貢献したいと思いますが、どんな職が向いているか、まだわかりません。これから学ぶ上で、自分の知らない自分を発見し、適性が見えてくると思います。それまで多くのことを得られるよう、積極的に行動していきたいと思います。

山形大学・加瀬 詩織 (高66)

私の夢は地域医療に従事する医師になることだ。僻地で住民一人一人の要望や生き方に沿った医療を提供している医師がいることを知り、私もそのような医師になりたいと思った。現在は長生きすることだけでなく生活の質も重要視され、その人にとって最善の治療法を選択することが必要だ。大学で学ぶ中で医療者として自分に求められていることやどのような医療を提供したいかを改めて考えていきたい。

医学部に入るために浪人した際、多くの先生方や友人の応援を頂いた。沢山の応援の言葉や「合格したら会おう」という約束を実現したいという思いが辛い時には本当に励みになった。私の合格を自分のことのように喜んでくれる姿を見る度に諦めずに頑張っていた良かったと思ひ、感謝の気持ちで一杯になった。高校の思い出を一言で表すことはできないが、支えてくれた多くの人と過ごした時間の全てが私にとっての宝である。いつか人を支えられるようになり恩返しをしたい。

千葉大学・石毛 洋輔 (高67)

大学生になった今、現在の自分と3年前の自分を比べてみると、大きく成長した自分に気づかされます。振り返ればその過程の3年間はとても充実したものであり、中でも文化祭の企画・運営に携われたことは、特に私を大人に近づけてくれた出来事でした。あまり目立たない割に忙しく、苦勞することばかりでしたが、そこで学んだ、行事を成功させるために自分たちで企画を提案し、話し合い、自主的に行動するという姿勢は、きっと将来必要としてくれる人があると思います。

私は今後、大学で生物学をまなび、将来は生物をさらに探求していく研究職か、生物学を伝えていける教職に就きたいと考えております。しかし、具体的に自分がやりたいことや自分にできることは定まっておらず、まだまだ新たに発見できることもたくさんあることと思います。したがって今後は様々なことに挑戦して知見を広め、同時に自分が専攻した分野はとことん追求することで、自己実現に向けて一歩ずつ成長していけるよう、努力を怠らずに充実した大学生活を送っていきたくたいです。



装丁家として思うこと

装丁家として一番大切なこと、気を使っていることは、著者が何を考え、何を読み方に話しかけているかを、どのような方法で形にし、書店で手にしてくれるかです。

ゴルゴ13などコミック誌は、ビニールでカバーされ中身を見

た。その後、クライアントの要求するデザインだけでは物足りなく、二科会のデザイン部へ応募し第69回展で初入選。その後13回連続で入賞を重ね、12年間お世話になった会社を円満退社して、デザインハウス ビガーを主宰。装丁家となりました。

装丁家として思うこと、すなわち装丁力が問われ、販売部数がデータ化され装丁家の評価となります。装丁も含めてグラフィックデザインの仕事は、商品の宣伝ですので、どれだけ一般大衆にビジュアルコミュニケーションできるかが全てです。デザインの・色彩的に優れていてもアウトです。まして、独りよがりではいけません。私は、若い方に「自分の棲み場所をみつけないさい」と言います。すなわち自分の特性を冷静に把握し突き詰めることが、この世界で生きていくコツです、と教えています。また、アートを追求するのであれば、大きな

公募展に応募し、入選・受賞し不特定多数の方に作品を見てもらうことです。そして、会友・会員になることです。組織の一員になれば、会務がありますが落選せず、国・県・私立の美術館に自分の作品を発表する機会ができます。合わなければ退会すれば良いわけで、こういうことを経験することが大事です。今までの恩返しのため後進を指導していますが、後輩が受賞し賞状を頂いたのを見ると生きている感じがします。やがて、その人たちに抜かれていくんだな、と思う今日この頃ですが、それが今の私の刺激にもなっています。

校長就任にあたって

生涯にわたって
輝けるように

校長 長谷川 茂



同窓会会員の皆様には、平素より母校に思いを寄せていただき、また、物心両面にわたり御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、この春の人事異動で匝瑳高校に着任いたしました。生徒のため、匝瑳高校の更なる発展のため、微力ながら全力を尽くす所存です。よろしくをお願いいたします。

本校では、少人数授業、進学講習、ランクアップセミナー等の学力向上策や高校入学から卒業までを見通したきめ細かな進路指導、キャリア教育等に取り組んでいます。

また、文化祭・体育祭等の学校行事や部活動を幅広い教養やコミュニケーション能力、豊かな人間性の育成を図るための重要な教育活動と位置付け、充実・活性化に取り組んでいます。

生徒達は、匝瑳高校に誇りを持ち、同窓生の皆様が創り上げた清新はつらつたる校風のもと、意欲的な学校生活を送り、「文武両道」の道を邁進するとともに、高い目標を掲げ、その実現に向けて懸命に努力を積み重ねています。

今後も、様々な教育活動の充実を図り、生徒一人一人に夢・希望の実現に必要な能力や社会的・職業的自立に向けて必要な能力・態度を育成し、一人一人が生涯にわたって輝けるように、教職員の力を結集して取り組んでまいります。

母校の後輩のため、本校の教育活動にお力添えをお願いするとともに、同窓会の益々の御発展を祈念申し上げます。

夢は叶う！先輩の声

平成27年度グローバル人材プロジェクト事業

国際理解推進のための講演会が6月18日（木）、講師に山崎政夫さん（高23・シチズンシステムズ(株)情報機器事業部執行役員）を迎え、「夢は叶う！あるビジネスマンのユニークな自己実現法 英語征服に近道はない、ただ効果的な勉強法はある！」を演題に、匝瑳高校体育館で行われました。

山崎さんは、国際化・電子の時代を先取りし、米国で転社によってステップアップしてきた自身の経歴をもとに、英語力を身に着けることの意義及びそのノウハウについて具体的に話されました。

進路実現を身近な目標としている生徒たちにとって参考になることが多く、熱心に聞き入っていました。

学校 だより

野球部

平成27年度第68回

秋季千葉県高等学校野球大会

◎1次予選

匝瑳0・4成田国際

◎2次予選

匝瑳8・5君津商業

匝瑳4・0桜林



夏に向けレベルアップを目指す野球部員

（平成21年度以来、6年ぶり県大会進出）

美術部

全国高等学校総合文化祭

滋賀県大会美術工芸部門

◎油絵の部

藤崎 香奈（3年）

石田 七海（3年）



石田さん(左)と藤崎さん

◎県大会1回戦

匝瑳0・3千葉黎明

弓道部



関東大会出場的女子チーム

第59回関東高等学校弓道大会が、平成27年6月5日（金）から7日（日）まで埼玉県立武道館で開催され、本校から女子チームが団体戦に出場しました。

高校67回（平成26年度全日卒業生）同窓会幹事

クラス	氏名	読み
A組	飯島 駿	いいじま しゅん
B組	岩橋 佳吾	いわはし けいご
C組	才賀 悠斗	さいが ゆうと
D組	加瀬 佑樹	かせ ゆうき
E組	椎名 将貴	しいな まさき
F組	高橋 佑佳	たかはし ゆうか
G組	加瀬 裕也	かせ ゆうや
H組	森 治朗夢	もり じえろうむ

定時制第61回同窓会幹事 向後 眞奈美（こうご まなみ）

26年度卒業生の進路状況

全国的に国公立大人気↑

千葉県教育委員会から進学指導重点校に指定されている本校では、一人ひとりの希望や適性に合わせたきめ細やかな進路指導をし、その結果、早稲田大、慶応大を始めとする難関校に多数の現役合格者を出すことができました。

その中で、国公立大合格者数は現役で27名。千葉大、お茶の水女子大、金沢大などの難関校に合格しました。全国的に文系理系とも国公立大の人気は上昇の一途をたどり、地方の国公立大であっても全国各地から受験者を集めていて、「合格できる国公立大ならどこでも出願」という状況にあると言えます。文系は教育系を中心に地方の国公立大も難関化しています。

本校では平成26年度も全国を視野に入れた出願指導をして結果を出しましたが、平成27年度もこの指導をさらに徹底させていただきます。
(進路指導部)

平成26年度卒業生の進学・就職先実数

	平成26年度	平成25年度	平成24年度
国公立大	18	29	21
私立大	198	189	189
国公立短大	1	1	0
私立短大	8	9	8
準大学	0	0	0
専門学校	33	39	24
留学	0	0	0
公務員就職	6	6	10
民間就職	2	0	5
予備校等	54	46	63
総数	320	319	320

気合を入れる藤本選手



集中する宮崎選手



●平成27年度関東陸上競技選手権大会（8月21日（金）～23日（日）、茨城県）

●平成27年度関東高等学校陸上競技選手権大会（6月19日（金）～22日（月）、山梨県）

陸上競技部

出場選手：角田七海（3年）、平山藍果（3年）、藤井歩（3年）、林菜摘（3年）
成績：24射12中（予選敗退）
顧問 角田利幸（高54）

●平成27年度関東高等学校陸上競技選手権大会（6月19日（金）～22日（月）、山梨県）

●平成27年度関東高等学校陸上競技選手権大会（6月19日（金）～22日（月）、山梨県）
ハンマー投げ：藤本圭吾（2年）
決勝18位45m 34
1、500m：宮崎友里花（2年）
予選8着4分34秒39



力走する高橋選手（前から4番目）

（日）、茨城県）
800m：宮崎友里花（2年）
決勝7位2分18秒96
5、000m：高橋しおり（2年）
決勝8位17分55秒80

平成27年度教職員名簿

（ ）は卒業回

体	理	数	社	国	教	校																																
育	科	学	会	語	頭	長																																
平金松押岩鈴鎌滑鈴坂角林梅佐向鈴渡宮岩前林衣木齋宇押滑藤田大石松高宮佐松小青平鶴佐前宮田長	山杉本田瀬木形川木本田	田々後木邊崎瀬田	幡内藤野尾川田村木嶋本橋内藤浦高澤山澤藤田内口谷川	尚恭剛正 準 好優寛利 雄輝仲英里賢道朋健克俊英典眞眞利和宏博典信宏 里清晴淳 弘康 君	(51)(40)(36)	(25)	(54)(38)	(24)	(34)	(33)	(30)	(38)	(27)	(32)	(32)	(31)	(31)																					
技師	主査	養護	理科	英語	数	社会	国語	英語	道徳	書道	美術	音楽	英語	美術	音楽	英語	音楽																					
石門高	高橋	六石	宮高	行小	奈岩	岩	山	新	J・V	高	伊	渡	相	西	高	福	水	宇	外	石	吉	森	加	成	木	伊	高	菅	齊	高	花	鈴	伊	吉				
田倉木	川毛	穂山	木原	良井	崎	美	美	美	ウイ	橋	藤	邊	川	之	木	島	落	井	口	田	田	田	川	藤	川	村	藤	岡	本	生	藤	木	澤	木	藤	井		
まり清	祥	宏	茂光	好俊	宏	美	晴	美	美	武	芳	道	一	由	幸	由	と	昌	有	典	敬	恵	真	美	賢	雅	浩	和	雅	貞	貞	幸	学	幸				
美子香	太俊	育	浩明	男子	一	信	美	美	グ	信	江	隆	斗	香	男	梨	み	子	子	子	子	子	子	衣	紀	一	浩	和	子	之	隆	清	男	男子	史	幸		

支部総会

5月23日(土)、千葉京成ホテルミラマールにて、平成27年度京葉支部総会を開催しました。来賓として現校長の長谷川茂様を迎え、67名の参加での開催となりました。

土岐会長の挨拶の後、議案審議となり、平成26年度事業報告・会計収支報告、平成27年度事業計画案、いずれも満場一致で承認可決されました。また、本年度は役員改選案が上程され、石井稔氏(高18)が新会長に選任されました。

支部の話題

同窓会の各支部は、各地区で特色のある活動を行っています。支部総会の場合は、出席依頼を受けて、会長を始め校長、事務局長などが参加しています。

た。土岐四郎前会長(高11)には、長きに亘り京葉支部会長としてご尽力頂き、皆で感謝いたしました。

講演「千葉県財政」

本年度は、宮島三郎氏(高26・27年3月末まで千葉県総務部財政課長)による「千葉県の財政事情」の講演を拝聴しました。千葉県の台所事情は厳しい状況が続いているとの講話の中で、税金の使い方・使われ方を再認識する機会となりました。

次に懇親会となり、中17から高26までの幅広い参加者全員が和気あいあい、学生時代に戻って昔話に花を咲かせました。

最後に、次年度での再会を約し、匝瑳中学の校歌と匝瑳高校の校歌を大合唱してお開きとなりました。

□今年度の役員(敬称略)

会長 石井稔(高18新) 副会長 石橋進(高12)・相原貞子(高12新)・渡邊馨(高13新)・疋田躬矩(高14)・熱田熙人(高15)・椎名三郎(高

16)・大久保隆章(高20)・加瀬博道(高21新) 監事 鈴木正義(高7)・渡邊五久男(高14) 幹事長 石橋由紀雄(高22新) 事務局長 高井邦雄(高22新) 会計 山崎静江(高22新)

支部ゴルフ大会

9月28日(月)、久能カントリー倶楽部において、総勢125名(男性119名・女性6名)の参加で京葉支部のゴルフ大会を開催しました。

当日は、スコアの悪さをお天氣のせいにするのができない程の絶好のゴルフ日和となり、各人が好スコアを目指し熱戦を繰り広げました。参加組数も多く、最終組のホールアウトまで大分待時間かかりましたが、全員が何の事



故もなくホールアウトしました。懇親パーティでは、各テーブルでゴルフ談義に花が咲き、たくさんの賞品が提供された成績発表(新ペリア方式)では、一喜一憂する光景があちこちで見られました。

優勝は、男女総合で篠原勝氏(高13) グロス87・ネット72・6、女性の部では、羽田似久美氏(高20) グロス92・ネット77・6)が栄冠を勝ち取りました。なお、石田健治氏(高21) O U T 40・I N 37・計77) がベスグロに輝きました。また、押尾鼎氏(高

東京支部

支部総会

平成27年4月11日(土)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)において、第17回匝東会総会が95名の参加を得て盛大に行われました。

阿部四郎事務局長(高17)の司会による来賓紹介に続き、宮崎晴可会長(高15)が創立90周年記念事業への会員各位の協力に対する御礼と講演紹介の挨拶を行いました。続いて宇野健一同窓会長(高

2)・島田新治氏(高5)の2人がエージシュートを達成し、ゴルフ場から認定書が贈られました。

今年もたくさんの賞品を提供して頂きました皆さんには、感謝申し上げます。来年も数多くの皆様の参加をお待ちしております。

さらに、京葉支部では、この後の行事予定として、11月28日(土)に日帰りバスツアー(野田キックコーマン醬油工場・守谷アサヒビール茨城工場の見学)を企画しております。

石橋由紀雄(高22)

22)から募金協力の御礼と盛會裏の式典の模様、長谷川茂校長からは4月着任と母校の現況報告と挨拶を頂きました。その後、議案審議に移り、宮崎会長の議事進行のもと、活動報告並びに会計及び監査報告等があり、満場一致で承認されました。

「匝東会15年の歩み」の発刊に当たり、飯島英胤名誉会長(高6)から発足の経過並びに趣旨説明があり、藤井治

前事務局長（高13）が15年の歩みの内容を報告しました。

「ちいちい茶屋」講演

第2部講演会は「ちいちい茶屋へ行こう」と題し、俳優地井武男さんと同期生（高13）の荒井淳一さん、林隆さんによる講演を頂きました。荒井さんからは記念館設立メンバーとして、ちいちい茶屋の設立の経緯や、匝瑳市観光大使としてふるさととお祭りをこよなく愛した人となりのお話がありました。熱が入り、地井さんへの「お別れのことば」まで飛び出しました。林さんからは、平成24年度文化庁映画賞を受賞した映画



美術監督として、高校、俳優座養成所、デビュー当時から65歳に始まったちい散歩まで、映像ありの紹介でした。

「俺は地獄の部隊長」の1コマに内田良平さんが出て来たのには驚いたが、「芸能界は華やかなものではない。年俸200万円以下が60%を占める」「賞を貰うと仕事がない」とか、芸能界の裏話を交えた楽しい講演でした。

抽選会ありの懇親会

第3部懇親会は、碓穹一（高15回）、森幸男（高17）両副会長の進行により執り行われた。90歳とは思えない木川統一郎氏（中14）の気合の入った乾杯の音頭、88歳の太田昭吉氏（中17）の張りのあるショートスピーチで始まった。高18の鈴木勝彦・大塚栄一、湯浅ふさ子さん、高25の鎌形豊さんら若手を紹介し、外れ無しのお楽しみ抽選会で大いに盛り上がった。

最後に「至誠剛健快活の精神は常に高鳴りす」と、匝瑳高校の校風と伝統を声高らかに

かに合唱し、母校の益々の繁栄と同窓各位のご健勝を祈念し、抽選会の銘酒、銘茶、そ

四街道支部

第17回支部総会

7月11日（土）10時30分から四街道市文化センターにおいて、四街道支部同窓会第17回総会が開催されました。母校から長谷川茂校長、本

部から關範雄同窓会長（高23）、林潤事務局長（高38）が出席され、支部会員の参加は31名で、母校及び同窓会の近況について報告がありました。

総会では、工藤博孝議長のもと、支部の活動報告並びに新年度事業計画が承認され、会長には工藤博孝氏（高11）が、副会長に宮田省一氏（高13）、伊橋宏氏（高14）が、会計監査に島田啓蔵氏（高15）が役員承認されました。

講演「匝瑳氏の歴史」

総会終了後、「匝瑳氏の歴史について」と題し、旭市出

ばつゆ、多古米、落花煎餅等を手土産に散会した。

須郷隆雄（高17）

身の押田三郎氏（現四街道市日中友好協会副会長）の講演会を開催しました。押田氏は匝瑳の歴史については個人的興味で勉強したものです。

現匝瑳高校周辺の敷地は「匝瑳城址」で、平安後期から南北朝まで約270年間「匝瑳氏」として繁栄しました。その後、「八日市場城址（現天神山公園周辺）」に慶長18年（1613）までの約170年間「押田氏」が治めていました。併せて440年間の歴史を刻みました。江戸幕府の約280年間より安定



していたと。奈良時代、平安時代の開拓の歴史についても話が進み、また、「匝瑳氏」は、「那智熊野神社の荘園」であったことは驚きです。質疑応答も含めて60分話され、郷土史の必然性を改めて知らされ、まだまだ、聞きたいこともたくさんありましたが時間の都合もあり、講演は終了しました。

研究課題ありの懇親会

続いて島田啓蔵氏（高15）の絶妙な司会のもとに、懇親会に入り、それぞれ出席者全員の近況報告などに話も弾み、久古榮二氏（高5）は「アイデンティティをもって家族のため、社会のため生きること」を説き、金谷貞夫氏（高6）は「歴史と社会的変貌に関心が高まった」こと、「匝瑳氏と押田氏の関係」、「同窓会のミッションとはなにか」と今後の研究課題を提示され、最後に石田實氏（高2）は、腹の底から大きな声が出せるのは健康の秘訣と、詩吟を披露されました。懇親会は和やかなうちに終了しました。

工藤博孝（高11）

寄稿のお願い

写真を添えて事務局へお寄せ下さい。

同期の話題

平成27年は、新年早々に話題となったのが「イスラム国」でした。ネット上では凄惨な画像が流され、日本人2人が犠牲となり世界に衝撃を与えました。9月には関東・東北を襲った記録的豪雨、田安が進み、中国人観光客の増加による「爆買い」などが話題となりました。そんな中、同窓生の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今回は、山匠一八会、匠瑳21・1同期会、匠陵一九会掉尾の会、九回生同期会、の学友の話題が寄せられましたので紹介します。さふさの原稿は13文字32行が基本となります。ホームページでも照会できますので、同窓生の皆さんのお便りをどしどしお寄せください。

山匠一八会開く



二〇一五年五月七日
「ここ東海の道のはて
大海原を見渡して
……………」

先達が一節を唄うと以下蛭声を張り上げて大合唱となる。この時往年の一体化のみんながよみがえる。校歌の魔力か。

会場の横芝光町に参加したのは以下の十五名

- 小川 知至 鈴木 茂昭
- 磯部 五郎 並木 昭典
- 市原 敏男 鈴木 高雄

匠瑳21・1同期会

- 八馬 勝二 鈴木 二郎
- 鈴木 馨 鶴之澤正夫
- 角田 喜男 土屋 嘉彦
- 菅谷 敏夫 疋田 文雄
- 越川 昭

「次は『米寿の集い』として東葛一八会と合同して開くべし」との提案があり、これを了承して散会した。

鶴之澤正夫（中18）

匠瑳中学校21回（昭和23年3月卒）、匠瑳高校1回（昭和24年3月卒）の23回目の同期会が、平成27年5月31日（日）八日市場「梅田家」を会場に開催された。今年の当番幹事は匠瑳地区である。

前々雨の予報が当日は真夏さながらの猛暑？になり、老体は適応困難な状態に…。85歳の歩みは意外に厳しく、この1年間に逝去の連絡が9人もあり、物故者の合計は遂に三桁100人となった。

参加者も昨年の25人から8人減って、17人と同期会最少参加者数を記録した。

午後3時30分の予定が電車の遅れで45分の開会となる。片岡工さんの司会・進行で記念撮影、福岡正夫さんの開会の言葉、向後忠さんの合図で

黙祷、代表幹事の経過報告、各自一言の自己紹介、4年ぶり参加の大川英雄さんの音頭で乾杯をして宴に入る。

17名中昨年と同じ顔ぶれが15名、2年と4年ぶりが1名ずつ。まずは、お互いの近況や病気・病院情報の交換などと、故人も含め見えない仲間思いの出や消息が主な話題になる。

今年はのど自慢が数人欠席だったので、懐かしの昭和歌謡と軍歌が山本秀夫さんと安藤正さんの独演会のようになっていました。頑張った盛り上げてくれた。

午後5時を過ぎるとお迎えの家族がチラホラ…。有り難いことだし幸せなことである。約束はできないが、生きていたら来年も会いましょうと



匠瑳21・1同期会 2015(147).5.31「梅田家」

言い合いながら午後5時45分椎名素夫さんの音頭で一本締めで解散する。
次回は平成28年5月29日（日）、「梅田家」で開催の予定である。

最後に新物故者

- 吉田 實、若松福太郎
- 太田政太郎、勝股 昭一
- 吉田 恒蔵、大三川皓一郎
- 日色 好郎、小林 源治
- 秋山 昭一

の9氏を含め、100人の故人の御冥福を祈って報告とする。
大関正（高1）



▲ 匠陵一九会(中22、高2) 掉尾の会

とうび

平成二十七年五月十七日の日曜日、梅田家にて同期掉尾の会が催されました。

昭和十九年四月県立匠瑛中学校に入学し、戦中戦後の激動の青春を共に過ごしてから七十余年が過ぎました。私たちの学年は敗戦後の新生日本を共に歩んで参りました。

昭和二十二年に学制改革があり、新制匠瑛高等学校の二年生に進んだ人も多数居り、昭和二十五年三月に卒業するまで六年間在学しました。又、男女共学の嚆矢こしの学年でもあり、松尾高女から二名の同級

生が編入されました。

営々として多士濟々として続けてきた会ですが、私たちも傘寿を越え老齢に達し心身の衰えを感じる会員も多くなりました。同級生二百三十七名のうち八十五名が鬼籍に入られました。此の時に当たり、今回の総会をもって匠陵一九会を閉じることに決しました。

掉尾の会は和氣藹々のうちに松沢稔氏の司会で始まりました。記念写真撮影後、物故者八十五名に黙禱を捧げました。松山敏氏により開会が宣言され、幹事長から次の主旨の挨拶がありました。

「営々として挙行されてきた匠陵一九会ですが、思い入れもあり、残り惜しくもありますが、会員の高齢化等の事情もあり、今日の会合をもって匠陵一九会を閉じることに致しました。来し方、行く末を思いつつ心置きなく時間の許す限り往時を語り合つて花のある『掉尾の会』にしたく思います。会の終結に当たり、会を維持されてきた歴代幹事

の方々に厚くお礼申し上げると共に、会員の皆様方のご健勝を心よりお祈りいたします。乾杯は男女共学の嚆矢である

私たち学年を代表して越川英子さん(越川清先生の御令嬢)が音頭を執りました。和氣藹々、喧々諤々のうちに懇親は進み、談論は風発しました。

宴えんたい酣なむとなり、やがて石田実氏のリードにより「此処東海

▲ 九回生同期会

至誠剛健快活の伝統ある匠瑛高校を昭和三十二年三月に卒業した九回生同期会が二年ぶりに四十一名が出席して旭市「にわ国道店」で平成二十七年六月十八日に開催されました。

幹事河西義彦さんの司会で始まり、冒頭卒業時の三百十三名の内、把握できただけでも逝去された七十二名の御霊にご冥福を祈り黙禱を捧げて面影を偲びました。

代表幹事飯田繁と世話人会会長鶴沢恂一さんの挨拶があり、幹事高山博さんの発声で

の「」の校歌を声高らかに斉唱しました。松山敏氏による「大団円」の閉会の言葉があり、三三七拍子の手締めにより会を閉じました。

爾後は、個々の連絡や有志の会・地域の会などにより更に絆を深め、健康に留意して不死鳥の如く羽ばたいていくことを誓い合い、名残りを惜しみつつ家路につきました。

向後寛(高2)

乾杯し、懇親の宴に入りました。

卒業後五十八年、七十七歳の喜寿の同期会でもあり、お互いの健康を気遣い合い旧交を温めあつて、盛大な宴席が時間の経つのも忘れて延々と続き、楽しい一時を過ごすことができました。

高校生活の三年間を共にした同期会に、元気で出席できたことは最高の喜びであります。

社会の荒海に立ち向かい、曲がりくねった幾多の道程を乗り越えられて今日があるこ

とも、家族をはじめ多くの友人、知人の支えがあったからでありまして、感謝以外のなものでもありません。

平均寿命にすぐ手のとどく年になりましたが、残された今しばらくの人生を、感謝の気持ち忘れずに、年はとりまして前向きで、健康に気をつけながら一日一日を大切



にし、家族ともども日々穏やかに送ることができたらしい思いを強くしたところでありました。

最後に校歌を斉唱し、次期同期会での再会を約して散会しました。飯田繁(高9)



第10回匝高無線部OB会

10月27日(火) 12時30分、旭のホテル・サンモールを会場に10回目の匝高無線部OB会を開催する。

一週間前には雨の予報だったが晴天に、前日は急な寒波に慌てて冬パージョンにしたのに当日は半袖で十分な夏日に、目まぐるしい変化も都合の好い方に変わるのに文句はない、いい日だった。

今回は18名のエントリーで全員出席ではあったものの、開始30分で退席した人と、70分遅れで到着した人があり、全員の顔が揃った時間はな

かった。

昨年と同じ顔が17名で、初参加は土屋弘之(高9) 1名だった。なお、小林茂俊(高7)が「わが人生の出発点はあの階段下の部屋だった」とはるばる愛知県春日井市から2年連続で参加してくれた。

恒例の自己紹介も同じ顔ぶれが会を重ねるので、思い出よりも近況報告に多くの時間が割かれるようになった。

昭和22年に無線部の種が蒔かれ以後10年、華やかな活動の跡を残して忽然と消えて44年間の空白ののち、OB会として復活した不思議な仲間たち、絆の原点は階段下の薄暗い部屋であろうか? 全員が後期高齢者となった今なお半数近くが集まってくる所以は何処にあるのだろうか。話は尽きなかったが3時、11回目の再会を約して解散する。

今回の参加者は、
中21回 片岡工、林秀夫
高1回 大関正



高1回 大関正、高2回 松沢稔、大関正己、高9回 土屋弘之、高10回 菅谷稔、米本雅男

同窓会第十五回 シニアゴルフ大会

- 高2回 松沢稔、大関正己
- 岩崎一好
- // 3回 鈴木茂陽
- // 4回 大木喜好、武田重善
- // 6回 江波戸弘巳
- // 7回 林磐、平山宗雄
- // 8回 加瀬進、渋谷弘美
- 小林茂俊

- 高9回 土屋弘之
- // 10回 菅谷稔、米本雅男
- の18名である。
- まだ参加できる条件を有する仲間が数人いるので、次回にも新しい顔が見られることに期待したい。
- 大関正(高1)

平成27年10月26日(月)、匝高中・高校同窓会第十五回シニアゴルフ大会が、ゴルフ倶楽部成田ハイツリーに於いて開催されました。

今年度は高23回生が担当させていただきました。一番の心配は天候でした。大会一週間前には何と二つもの台風が同時に接近していました。しかし、参加者の皆様の強い思いのお蔭で、予定どおり開催することができました。

当日はご多用の中、127名の大勢の参加をいただき心より御礼申し上げます。プレー中やプレー後は、同窓・表彰式冒頭において皆様方からの参加費の一部を母校支援金として長谷川校長先生に贈呈させていただきました。その後は各賞の発表と和やかな雰囲気の中、無事に大会を終了することができました。



本大会に際しまして、関係各位からのご協力と協賛品の提供、ご芳志を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

来年5月18日(水)には、全卒業生を対象とした親睦ゴルフ大会を予定しております。

す。是非、多くの皆様をお誘いいただき、ご参加いただければ幸いです。

最後に、23回生の皆様には、準備・運営へのご協力誠にありがとうございました。

体育部長 多田 清司(高23)

成績(敬称略)

◎ ネットの部

優勝 宮内 武雄(21回生)

準優勝 椎名 善夫(23回生)

第三位 伊藤 勝夫(12回生)

◎ ベストグロスの部

総合 鈴木 克美(21回生)

シニア 景山 正昭(13回生)

平成28年1月30日(土) 25回生同窓会を開催

すでに案内状を送付してありますので、折り返し返信願います。なお、案内状不明等の場合、下表の役員へご連絡ください。

- 日 時 平成28年1月30日(土)
11:30～受付 12:00開会
- 会 場 成田ビューホテル

発起人	並木 淳 (H組)	鎌形 豊 (H組)
	吉川 昇 (C組)	林(木村)勝美(D組)
A組	桑 田 克 己	浜 屋 薫
B組	土屋(田中)孝治	塚本(鈴木)文枝
C組	吉 川 昇	大 川 悦 子
D組	石 毛 重 和	永 井 久 代
E組	鈴 木 廣 行	佐久間 邦 彦
F組	深 堀 俊 美	宮 内 昇 一
G組	椎 名 浩 二	磯 部 洋 子
H組	渡辺(松田)之孝	及 川 博

■問い合わせ 林(木村)勝美 ☎090(1114)4775

恩師からのメッセージ



D組
古村義行先生

発起人の「並木・鎌形・吉川・林」の4君を始め、各クラスの幹事諸君に敬意を表します。楽しい再会と集いを心待ちにしています。

追記：「さぼるなよ！出席できない奴は欠席届を提出しろよ！さもなくて俺の●●●が飛ぶかもな(*^_^*)」

副担任(算数マドンナ)
川内(飯島)恵美子先生



会いたいな！君に…！数学が苦手だった君、数学と縁のない社会で活躍かしら？

お金を借りてきた君は翌日いなり寿司を持ってきてくれましたね。

バラ色の60代を迎えて昔話に花を咲かせましょう！



E組
小関恒夫先生

匝瑳高校25回生の皆様、還暦おめでと。私は平成15年の春、県立船橋高校定時制を最後に退職し、現在は生まれ故郷の山梨県甲府市の湯村温泉近くの小寺の住職をしております。

皆様とお会いできることを楽しみにしてお伺いさせていただきます。

同級生からのメッセージ

ア
ラ
ス
カ
上
空
に
て



日本航空
最後のジャンボジェット機長

E組 鈴木 廣行

匝瑳高校時代に養った体力と気力で、日本と世界の空を沢山の命を預かりながら36年間飛びました！

世界中を見て回り、世界を知れば知るほど、日本文化や武士道、日本民族の素晴らしさを思い知らされました。無人の野菜売り場が成り立つ国は、世界広しと言えど日本だけでしょう！

「第2の人生」が始まるこの時期に、恩師に感謝をお伝えでき、同窓生の皆さんに会ってお互い励まし合えることは大きな喜びです！



元・日航ウインズ成田ホテル
シェフ

G組 椎名 浩二

昭和48年3月、355名+1名の若人たちが鶯の絡まる学び舎から、それぞれの道に進まれたことと思います。

あれから42年、進む道は異なれども少なからず社会に貢献してきたことと推察いたします。全ての皆さんがこれからも人生の楽園となるよう楽しく過ごしたいものと祈念しております。

同窓会が開催される運びとなり、同窓生たちと再び、再会できると思うとわくわくドキドキ、今から大変楽しみにしておりますと共に、幹事さんたちに感謝いたします。

真打昇進 四代目桂右女助さん

(梅田勝之 (高33))



四代目桂右女助

座右の銘は「と金の遅速」

私が噺家に転身したのは、37歳の時でした。匝瑳高校卒業時は、家庭の事情で進学を断念。そこから今で言うフリーターとなり、オーストラリアやカナダで働きました。カナダでは観光ガイドの仕事をして、今思えば、人前で話す愉しさを知ったのはこの時だったかもしれません。帰国後は京都で旅行会社の職に就きましたが、実は当時から物書きになりたいという夢があったもので、世間と人間を学ぶ為に葬儀社へ転職しました。人の死を見つめ、携わる仕事に全く抵抗はありませんでした。昔、匝瑳高校の隣には火葬場がありましたから。高校の隣に火葬場があるなんて、思えばすごい「教育」ですよ。私自身も後に、そこで両親を見送りました。

33歳で帰郷し佐原に居住しました。噺家になる決心をしたのはその少し後です。目が悪くラジオとテレビの音だけが友達だった母の為に、何かできないかと考えたこと。佐原という歴史ある土地にあって、私自身江戸文化に興味を持っていったこと。人前で話す面白さ。これらすべてを活かせるのが噺家だったのです。お陰様で、今年3月に四代目桂右女助として真打に昇進致しました。小説のほうも、2013年に伊能忠敬を主人公にした「榎の家」で第56回千葉文学賞、今秋には上総娘をヒロインにした「初音の日」で第10回ちよだ文学賞を頂戴しました。落語も小説も、マニア向けではなく、普通の一般の方々に認められることに意味があると思ってやっています。地元にもこだわりたい。現在、千葉日報で毎月第三木曜日に「なののはな亭」というコラムを書いています。地元の方々に書いていますが、元元の方々に地元ネタをお届けするように心がけています。12月26日には東金文化会館で演芸会にも出演します。歳をとると郷里のことが気になるものですね。若い時は大いに外へ出てみるべきですが、私もそれを経て、千葉が一番住みやすいと気付きました。

何かにチャレンジするのは、何歳になっても遅くはありません。尊敬する前出の伊能忠敬先生も、江戸に出て勉学を始めたのは50歳の時、日

本地区の作製は55歳を過ぎてからでした。私も少しは肖りたいと考え、3年前に千葉大文学部に入りましたが、勉強はむしろ大人になってからのほうが楽しいですよ。高校時代は友達を作る時期。故郷を共有する友は一生ものですから、大切にしたいですね。私の座右の銘に、「と金の遅速」というのがありま

東日本大震災 5周年祈念チャリティー

高橋順子 (高15)
講演会のお知らせ



◆日時 平成28年2月27日(土) 13時30分から16時

◆会場 東総文化会館小ホール(旭市八666番地)

◆高橋順子氏のプロフィール

1944(昭和19)年、千葉県海上郡飯岡町生まれ。飯岡小学校、飯岡中学校、匝瑳高校と進学し、東京大学文学部フランス文学学科を卒業。2014年に出版された詩集「海へ」は、東日本大震災で被害を受けた古里への思いを綴り、藤村記念歷程賞・三好達治賞を受賞。2010年には旭市図書館主催「私の好きな海のうた」と題する講演会を開催している。

◆問い合わせ NPO法人 光と風 ☎0479-57-5769

お悔やみ申し上げます

ご遺族もしくは関係者からご連絡をいただいた方です。
(平成27年10月31日受付分まで)
会員の訃報について、事務局まで情報をお寄せください。

- ◆旧職員◆
 - 穂田衛 平成26年7月26日逝去
 - 住母家宏(中12) 平成27年9月8日逝去
 - 鳥飼顕照(中16) 平成27年8月逝去
 - 大木光夫(高5) 平成25年10月10日逝去
 - 高橋利夫 平成26年11月逝去
 - 往古光正(中14) 平成26年12月18日逝去
 - 齊田昌二(中15) 平成26年9月24日逝去
 - 日色熙(中16) 平成27年1月9日逝去
 - 中川昭(中16) 平成26年7月21日逝去
 - 高埜宏(中17) 平成27年4月27日逝去
 - 高橋克彦(中17) 平成26年8月22日逝去
 - 桜井一夫(中17) 平成26年6月15日逝去
 - 渡邊寛治(中17) 平成27年2月16日逝去
 - 野口博(中17) 平成26年3月11日逝去
 - 秋山昭一(中21) 平成26年10月25日逝去
 - 勝股昭一(中21) 平成26年6月2日逝去
 - 菅田幸雄(高2) 平成26年7月19日逝去
 - 小林源治(高1) 平成27年2月21日逝去
 - 日色好郎(高1) 平成25年12月8日逝去
 - 上西守夫(併2) 平成26年9月25日逝去
 - 大木良雄(中22) 平成27年2月7日逝去
 - 松島陸雄(中22) 平成26年11月9日逝去
 - 大木(馬場)三郎(中22) 平成26年12月8日逝去
 - 若松福太郎(中21) 平成27年4月4日逝去
 - 大三川皓一郎(中21) 平成26年12月2日逝去
 - 太田政太郎(中21) 平成27年1月29日逝去
 - 古川恒(中21) 平成26年4月3日逝去
 - 大木勝也(高5) 平成25年12月2日逝去
 - 戸村光天(高5) 平成26年1月12日逝去
 - 江波戸弘光(高5) 平成27年7月6日逝去
 - 江波戸三四治(高5) 平成26年7月7日逝去
 - 高品秀秋(高5) 平成26年12月18日逝去
 - 小倉嘉一(高8) 平成25年8月23日逝去
 - 畔蒜毅(高8) 平成26年9月逝去
 - 伊藤堯昌(高8) 平成26年6月逝去
 - 小林(伊橋)成(高8) 平成26年11月22日逝去
 - 大関節子(高8) 平成27年7月5日逝去
 - 伊藤(加瀬)榮治(定夜2) 平成26年9月19日逝去
 - 鈴木(菅谷)慶治(高9) 平成26年8月15日逝去
 - 山崎佳雄(高9) 平成26年1月18日逝去
 - 野上英夫(高10) 平成26年6月23日逝去
 - 鈴木哲夫(高12) 平成26年8月27日逝去
 - 嶋田武男(高12) 平成21年逝去
 - 佐藤正文(高15) 平成25年5月21日逝去
 - 熱田典雄(高16) 平成26年逝去
 - 小早志岳美(高34) 平成26年10月17日逝去
 - 和田宜男(高52) 平成23年10月7日逝去
 - 山崎了(定54)
- ◆会員◆
 - 高品喜好(中3) 平成26年逝去
 - 小林信夫(中9) 平成26年1月29日逝去
 - 越川兼治(中9) 平成26年7月31日逝去
 - 熱田浩三(中13) 平成26年9月13日逝去

匝瑳高同窓会 検索

ご覧ください 同窓会ホームページ

～会員登録で広がる交流の輪～

匝瑳高校同窓会のホームページをご存知ですか？

同窓会員の「集いの広場」として開設しているホームページは、会員同士の情報交換の場としてご利用できます。

また、会員登録を行うと自ら情報を発信することも可能です。

皆さんもホームページを活用し、インターネットでつながる同窓の輪を広げてみませんか。



★おめでとうございます★

- ◆喜寿長老杖
中村九蔵さん(高8)
- ◆瑞宝小綬章
(故)鳥飼顕照さん(中16)
- ◆瑞宝双光章
向後正さん(中15)
鈴木克巳さん(高2)
(故)大木光夫さん(高5)
(故)往古光正さん(中14)
- ◆黄綬褒章
椎名勤さん(高19)

※受章(賞)についての情報を
事務局までお知らせ下さい。

◆同窓会費とは◆

会費は1年間1,000円換算し、30年間分3万円が終身会費です。従って、年会費納入者下欄の数値が、今回の納付年数となります。

納入書はホームページからも入手できますので、ご協力をお願いします。

※平成26年10月1日～平成27年9月30日受領分

終身会費納入者

- 〔中17〕 間瀬 順二
- 〔併2〕 江波戸和男
- 〔高1〕 山崎 豊
- 〔高7〕 伊藤 敏子
- 〔高9〕 増田 和士
- 〔高10〕 木内富士夫
- 〔高11〕 石井 みち
- 木下 淑恵
- 高橋 信子
- 林 寿美子
- 〔高12〕 木下 菊代
- 坂上 義也
- 椎名甲子代
- 〔高13〕 朝倉 静子
- 〔高14〕 松尾 博子
- 〔高15〕 伊藤 義孝
- 小林 好子
- 〔高16〕 小高さち子
- 大木 洋美
- 林 繁
- 〔高17〕 石崎 常雄
- 宇根 浩美
- 宮野もと子
- 〔高18〕 常世田順子
- 宮内 一郎
- 結城 俊子
- 〔高19〕 石井 初枝
- 〔高20〕 岡野 節子
- 〔高21〕 片山由紀子
- 並木 常行
- 成毛 洋子
- 〔高21〕 越川 信男
- 宮内 道子
- 〔高22〕 内田 則子
- 小川 絹代
- 小林 隆
- 作佐部成明
- 〔高23〕 小林 百代
- 高橋 辰雄
- 土屋 徹
- 林 重光
- 〔高24〕 熱田 文彦
- 中川 稔
- 〔高25〕 鵜沢 朋生

年会費納入者

- 〔高3〕 柏熊 武5
- 〔高8〕 椎名 寛治1
- 〔高10〕 藤代 道子10
- 〔高11〕 林 泰弘10
- 〔高13〕 関口 正昭10
- 〔高14〕 加瀬 邦雄10
- 〔高3〕 嶋田 豊5
- 〔高40〕 宮内 勝美
- 〔高44〕 常世田修一
- 〔定夜20〕 石橋 康
- 〔高27〕 平山 武
- 〔高50〕 越川 茂
- 〔高27〕 佐藤 久夫
- 〔高27〕 佐藤 和江
- 吉田 和美
- 〔高32〕 吉田 和美
- 〔高33〕 平山健太郎
- 〔高34〕 高野 英之
- 〔高35〕 吉田加代子
- 〔高36〕 川名 一夫
- 〔高36〕 石見 通
- 〔高38〕 伊藤 利枝
- 〔高39〕 根本 勝博
- 〔高40〕 岩井ひとみ
- 〔高40〕 菅谷 優美
- 〔高40〕 鈴木 彬実
- 〔高40〕 須藤 春江5
- 〔高44〕 高木 君代15
- 〔高50〕 戸村 徹10
- 〔高50〕 東條美恵子10
- 〔高52〕 大塚百合子10
- 〔高52〕 小川 哲央
- 〔高54〕 宮内 沙織
- 〔高54〕 椎名 節子
- 〔高55〕 滑川 徳子
- 〔高58〕 岩井ひとみ
- 〔高58〕 菅谷 優美
- 〔高58〕 鈴木 彬実
- 〔高18〕 加藤 文子3
- 〔高19〕 渡辺 豊也2
- 〔高19〕 網中 政夫10
- 〔高20〕 浪川八重子10
- 〔高20〕 伊知地良洋1
- 〔高21〕 宇井 照子1
- 〔高21〕 越川 敏雄10
- 〔高21〕 林 三千男1
- 〔高21〕 半田ひで子2
- 〔高21〕 山本 陽子5
- 〔高21〕 鶴ノ澤修平10
- 〔高21〕 齋藤 政勝1
- 〔高21〕 菅谷 実5
- 〔高22〕 平山 悦子10
- 〔高22〕 石井 秀光10
- 〔高22〕 大木 雅行10
- 〔高23〕 須合陽一郎1
- 〔高23〕 多田 義夫10
- 〔高23〕 橋村みさお5
- 〔高23〕 山本まゆみ5
- 〔高24〕 伊藤 雅義10
- 〔高24〕 田中 英子5
- 〔高24〕 及川 博1
- 〔高25〕 向後喜美子3
- 〔高26〕 高橋 克幸10
- 〔高26〕 大槻 輝子5
- 〔高27〕 崎山美枝子5
- 〔高27〕 小山 祥子5
- 〔高28〕 坪上 圭子10
- 〔高29〕 熱田 篤志5
- 〔高29〕 押田 明裕1
- 〔高30〕 高橋 孝二1
- 〔高30〕 高橋 孝二1
- 〔高31〕 江波戸恵子5
- 〔高31〕 大木 孝浩5
- 〔高31〕 湯浅恵美子10
- 〔高33〕 加瀬 仁1
- 〔高34〕 石橋勝太郎10
- 〔高34〕 河野 真一10
- 〔高35〕 瀧田 進市5
- 〔高37〕 宇井 教恵5
- 〔高38〕 戸村 克哉25
- 〔高38〕 大川信一郎1
- 〔高39〕 丸山恵美子5
- 〔高39〕 石見 輝男5
- 〔高40〕 多田 薫5
- 〔高41〕 小高 章子5
- 〔高41〕 大川 優1
- 〔高41〕 仙田 昌義10
- 〔高43〕 石田 小牧5
- 〔高44〕 西塚 実香3
- 〔高48〕 大根 正士3
- 〔高48〕 石橋 良浩5
- 〔高50〕 鈴木 紀一10
- 〔高50〕 関根 未央5
- 〔高53〕 石井 智子10
- 〔高54〕 加藤 玲奈10
- 〔高55〕 越川健一郎3
- 〔高56〕 戸倉祐太郎5
- 〔高57〕 神崎 陽介5
- 〔高57〕 菅澤 昌史10
- 〔高58〕 菅谷みずほ5
- 〔高58〕 土屋 英雅5
- 〔高60〕 神崎 真彦5
- 〔高60〕 大木香緒里3
- 〔高61〕 熱田 崇5
- 〔高61〕 大木 貴紀3
- 〔高61〕 鎌倉 康成10
- 〔高61〕 澁谷 隆宏1
- 〔高61〕 土屋 英己5
- 〔高61〕 渡邊あゆみ1
- 〔高61〕 鳴海大二郎10

編集後記

昨年度創立九十周年の行事を成功させ、来るべき百周年に向けて、新たな一歩を踏み出す年となりました。關新会長のもと同窓会も各方面にその基礎固めにする年です。新聞も情報発信にするべく「温故知新」の精神で努力していきたいと思えます。身の回りの同窓生の情報をお寄せいただければ幸いです。細かな情報も、記念誌作成の貴重な資料となると思います。

(編集委員長・川口克己)

※紙面の都合で、原稿すべてを掲載できません。ご了承ください。

《第49号編集委員》

- 馬淵 英夫 (高10)
- 綿貫ひろ子 (高8)
- 富澤 汎子 (高11)
- 川口 克己 (高15)
- 太田 和利 (高27)
- 塚本 貢市 (高30)
- 高橋 康二 (高31)
- 武田 英樹 (高32)
- 小泉 泰孝 (高39)
- 林 潤 (高38)
- 關 範雄 (高23)